

FMアップルウェーブ 第129回放送番組審議会

開催日時	令和4年9月17日(土) 12:00~13:00
開催場所	土手町コミュニティパーク 多目的ホール(弘前市土手町)
出席委員	委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、渋谷 拓哉、高村 智子、石田 有希子、窪野 夏希、福島 由美
会社側出席者	代表取締役社長: 一戸 勝美、常務取締役: 倉田 昌直 放送部部長: 佐藤 誠、副部長: 花田 由香子、増田 由美子
議題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 12月6日(火)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 『防災士の安心ワンポイント~かあちゃん防災士の家族で安心防災タイム~』</p> <ol style="list-style-type: none">① 知らないことが多かったため、勉強になる内容だが、情報量が多く、ラジオでながら聴いたときに内容が入ってこないのではないかと。親子の会話の設定で入ったが子ども役の出番が少なく唐突で、不必要なのではないかと思う。マップがHPで見られるという案内だけでなく、配布場所も教えてほしい。TikTokの説明はしっかりいれるべき。② 8月の大雨の際には住んでいる地区も大きな影響があったので、タイムリーで勉強になる話題だった。実際の避難所で困ったこともあったので、こういったときに指定避難所の役割などの説明があればよかった。③ 親子の会話にせず、防災士同士のやりとりでもよかったのでは。8月の大雨の際は自分も緊急安全確保のアラームを受け取ったが各所混乱している様子があった。災害時に必要な情報を得られるよう毎日の情報がとても重要になる。④ 親子の会話形式は、平常時はいいがそうでないときは設定を外してきちんと伝えるべきでは。警報や気象に関する情報が様々出される中、ラジオは視覚に訴えるものがないので、テレビに頼ってしまう。繰り返し伝えることなど、聴覚だけでも情報として耳に残る工夫が必要。⑤ 進行役の語りが穏やかで聞きやすい。かなりの情報量のあるコーナーだったので、相当取材して準備したのでは。聴きながらスマホで調べるなどしたが、多くの人がスマホを頼りにすると思うので、アナウンスでフォローすればいいのでは。学校などでの「防災教育」に役立てられるのではないかと。思う。⑥ 内容はとてもいい。情報の順番があちこちになってしまった場面があったので、順序だてて話してほしい。落ち着いて話していたが、もう少し危機感を持たせるような言い方がいいのではないだろうか。⑦ 防災士として何を伝えなければならないのか、「家族」「親子」という設定のせいではやけてしまっていたように思う。防災マップに記載がある情報を伝える際は何ページのどこにあるのかを言ってくれば手元にある人は確認できる。高齢者や子どもなども行動に移せるので、丁寧に紹介してほしい。⑧ 大雨被害があった日の放送は情報発信が次から次へと一方的過ぎた。ためになる情報ではあった。矢継ぎ早なアナウンスで情報が入ってこず、メモもとれなかったため、もっとゆっくり、丁寧に話したり、家族に語り掛けるようにしたり工夫が必要。ロールプレイングなどがあってもよかったのでは。 <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布2) FMアップルウェーブのホームページに掲載